

ながくて市民大学「いきいき!エルダー塾」

【生涯学習課】

退職後の世代に長久手のまちに特化した内容を学んでいただき、「学ぶこと・交流すること」の楽しさを感じていただきます。この体験を通じて、楽しくまちづくり活動へ参加するきっかけになる市民主体の講座です。講師も市民団体が務め、平成28年度は15人が参加しました。平成29年度4月号広報で受講生を募集予定です。



ながくてフォトレポ

【情報課】

これまで来庁や電話、メール等で「ご意見」の投稿を受け付けていましたが、仕事等で来庁ができない現役世代



の方々向けの「ご意見」の投稿手段として、スマートフォンを使い市役所へ「ご意見」を投稿できるシステムの実証実験を名古屋大学と連携して行いました。また、同システムでは「ご意見(地域の課題)」だけでなく、「地域の魅力」の投稿もできるようになっており、市民同士で魅力の共有ができるようになっています。

このシステムを使った実証実験を平成28年11月～平成29年1月にかけて行い、実験初日の11月23日にはまちあるきをしながら地域の課題や魅力を探すイベントを開催し、33人に参加いただきました。

ジョギングパトロールワークショップ

【安心安全課】

「地域の目」を増やし、周囲に防犯パトロールを行っている姿を見せることで、犯罪が起きにくい環境をつくり、地域住民の安心感を高め、一人ひとりの防犯意識と防犯活動への関心を高めるためにジョギングパトロールを実施しています。



ジョギングパトロールの実施にあたって、ワークショップを3回行い、20～40代の市民と市職員のチーム「なでラボ」もファシリテーターなどとして協力しました。ワークショップで出た意見を基に、ジョギングパトロールで身につけるグッズとしてバンダナを作成しました。

公共交通応援隊

【経営企画課】

「みんなで育む公共交通」の実現に向けて、市民が地域の公共交通活性化に取り組む「公共交通応援隊」を平成27年度に結成しました。



平成28年は、公共交通応援隊キッズイベントグループが、子ども向けイベントとして、3月に「みんなで育む公共交通交流会」、8月に「夏休みNーバス探検ツアー」、11月に「Nーバストラジャーハンティング」を開催し、公共交通に親しみを持ってもらえるような取り組みを行いました。

市民主体の防災訓練

【安心安全課】

各地域における防災力の向上や、防災における課題を見つけることなどを目的として、すべての小学校区で市内一斉に訓練を行い、3,800人以上が参加しました。



自治会連合会や区などが主体となって、計画段階から訓練の内容を検討し、実施しました。

4回目となる今回の訓練では、①要配慮者(高齢者や障がい者など)への対応、②学校との連携、③実際に発災したことを想定した訓練、という3つに重点を置いた訓練を実施しました。